

# 市町村食育関連事業の実施状況(平成27年度)

参考資料

【平成27年度 施策別・ライフステージ別市町村数】

※重点施策は第2期プランによる

区 分	実施市町村数	乳幼児期		学童期		思春期		青年期		壮年期		高齢期	
		市町村数	割合(%)	市町村数	割合(%)	市町村数	割合(%)	市町村数	割合(%)	市町村数	割合(%)	市町村数	割合(%)
<b>重点施策1 食育を通じた健康づくり</b>	35	32	91.4	29	82.9	20	57.1	32	91.4	34	97.1	32	91.4
(事業例)離乳食講座, 妊婦歯科検診等の母子保健事業, 成人健診・保健指導事業, 親子食育教室, 若い世代の健康づくり支援事業, 給食だより, 保育参観などでの働きかけ, 地区健康教室 等													
<b>重点施策2 五感を使った食育の推進</b>	34	32	94.1	29	85.3	21	61.8	32	94.1	32	94.1	28	82.4
(事業例)保育所給食における地場産物の活用推進, 畑作りとその収穫物を利用した食事作り, 学校給食連携事業, クッキング保育 等													
<b>重点施策3「食材王国みやぎ」の理解と継承</b>	32	23	71.9	24	75.0	23	71.9	28	87.5	30	93.8	28	87.5
(事業例)生産者による出前授業への協力, 地元料理・郷土料理の給食の実施, 市民農園普及事業, 物産振興事業・観光振興事業, 産業まつり 等													
<b>重点施策4食の安全安心に配慮した食育</b>	25	17	68.0	16	64.0	16	64.0	21	84.0	23	92.0	23	92.0
(事業例)食品や食品の安全性に関する講演会の開催, ホームページでの情報発信, 給食食材の放射能サンプル測定, 消費生活講座, JAS法に係る立入調査													
<b>重点施策5みんなで支えあう食育</b>	34	27	79.4	24	70.6	23	67.6	31	91.2	34	100.0	34	100.0
(事業例)食育サポーター養成講座, 健康フェスティバル, facebookへの掲載, ラジオH@FMIによる食育啓発, 食育推進ネットワーク会議, 広報紙での食育取組紹介													

【平成27年度 施策別・ライフステージ別事業数】□(複数のライフステージで実施している事業があるため「実事業数」と各ライフステージの事業数の合計数とは合わない)

区 分	実事業数	乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期
重点施策1 食育を通じた健康づくり	363	153	133	76	218	260	181
重点施策2 五感を使った食育の推進	251	115	126	63	133	145	96
重点施策3 「食材王国みやぎ」の理解と継承	173	65	94	62	99	111	88
重点施策4 食の安全安心に配慮した食育	90	30	33	27	60	63	57
重点施策5 みんなで支えあう食育	151	31	30	25	44	44	110
計	1028	394	416	253	554	623	532

【まとめ】

- 「重点施策4 食の安全安心に配慮した食育」を除き、各重点施策に係る事業は、ほとんどの市町村で各ライフステージに応じた様々な事業に取り組んでいる。
- ライフステージ別で見ると、壮年期(40～64歳)を対象とした事業が最も多く、思春期(13～18歳)を対象とした事業が少ない傾向にある。



- これらの状況を踏まえ、「第3期プラン」では、計画のコンセプトに「次世代へ伝えつなげる食育の推進」を掲げ、子どもや若い世代を中心とした取組を重点的に推進しているところである。
- 子どもや若い世代を中心とした取組をさらに強化していくためには、次年度以後の県の各食育推進事業の実施において、市町村、教育委員会、関係団体等と連携、共有を図りながら取り組んでいく必要がある。